

入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和3年12月27日)

開催日及び場所		令和3年12月15日(水) 横浜植物防疫所会議室		
委員		吉武 雅子(大学講師) 田邊 清貴(公認会計士) 田中 康晃(弁護士)		
審議対象期間		令和2年7月1日～令和3年3月31日		
審議対象案件		56件 うち、1者応札案件 23件 契約の相手方が公益法人等の案件 0件		
抽出案件		9件 うち、1者応札案件 4件 (抽出率16.1%) (抽出率17.4%) 契約の相手方が公益法人等の案件 0件 (抽出率0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	—	
		指名競争	公募型指名競争	—
			工事希望型競争	—
			その他の指名競争	—
	随意契約	—		
	業務	一般競争	—	
		指名競争	公募型競争	—
			簡易公募型競争	—
			その他の指名競争	—
		随意契約	公募型プロポーザル	—
			簡易公募型プロポーザル	—
	標準型プロポーザル		—	
	その他の随意契約	—		
	物品・役務等	一般競争	9件 うち、1者応札案件 4件 契約の相手方が公益法人等の案件 0件	
		指名競争	—	
		随意契約(企画競争・公募)	—	
随意契約(その他)		— 契約の相手方が公益法人等の案件 1件		
(特記事項)		特になし		
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答等	
		令和2年度名古屋植物防疫所定期健康診断業務(単価契約) ・落札率が100%だがどういった要因が考えられるか。 ・「情報機器健診」どのような内容か。必ず必要な項目か。	・予定価格は近隣の複数の医療機関から参考見積を徴取して作成しているが今回は1者以外からは断られた。参考の段階で精査した価格であったと考えられる。 ・眼科健診のようなもの。必要な項目であるが競争を阻害する要因であれば別契約も検討する。	
		令和2年度植物防疫官専門研修(海外検疫コース)英語研修業務 ・落札額と予定価格の差が大きい。算出方法とその要因はどうとらえているか。 ・複数年同じ業者が落札しており、今回は1者応札となっている。その要因をどうとらえているか。	・入札説明書取得者に参考見積を依頼してそこから算出しているが、例年応札者は複数であることから落札のため大きく下げたと考えられる。 ・入札説明書は複数の者が取得しており、前年までは複数者参加している。以前の落札価格から落札が難しいと敬遠された可能性はある。	
		高水準英語研修業務 ・1者応札の要因をどうとらえているか。 ・前年と比較し落札率の差が大きいとその要因はどうとらえているか。	・参考見積の依頼の時から新型コロナの関係から講師の確保が難しいとの理由で提出を断られていた。 ・前年は複数の者から取得した参考見積から算出しており、今回は参考見積を提出できる者が1者のみであったからその差と考えられる。	

<p>農林水産省横浜植物防疫所職員用作業着製造 (単価契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総数でなく、なぜ単価契約としているのか。</li> <li>・デザイン等の変更はないのか、その場合どのように決定しているのか</li> <li>・市場価格の調査がなぜ困難なのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の要望と必要な数量を検査し確定することから予定より数量が前後するため。</li> <li>・今回数年ぶりにデザイン等を改定しており、これは作業着等の知見を有した団体に相談のうえ決定している。</li> <li>・既製品ではなく特注品なため、市場価格との比較は難しい。</li> </ul>
<p>電子計算機141式売買契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの売買であり、台数も多い。複数者応札しそうな案件であるが1者応札の要因はどうとらえているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札説明書は5者が取得している。これはテレワークを行うためのパソコンであり、当時は社会全体でリモートワークが推進されており、周辺機器は売り手市場だったと考える。よって、納期までの台数の確保が難しかったのではないかと推察される。</li> </ul>
<p>リアルタイムPCR装置1式売買契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これはどのような機器か、新型コロナウイルスのPCR検査を行うような機器か。</li> <li>・予定価格のどのように算出しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人ではなく、植物等のウイルス病検査を行う機器である。</li> <li>・製造メーカーが公表している標準小売価格等を参考に算出している。</li> </ul>
<p>光波干渉式ガスモニター4式売買契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これはどのような機器か。</li> <li>・前案件とこの案件及び残り2件の審議案件については、全て同じ2業者が応札している。なぜこのようなことが起こるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当所では植物に付着した病害虫等を死滅させるため、植物を一定時間燻蒸消毒を行うことがあり、消毒中のガス濃度を計測する機器である。</li> <li>・各地域での代理店の得意分野が関係していると考えられるが、神奈川県内ではこの代理店という形が業界で出来上がっていると推察される。地方の業者が応札してくれば変わってくると考えられる。</li> </ul>
<p>人工気象器外7点売買契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工気象器とはどのような機器か。</li> <li>・予定価格の算出方法は前案件と同様に製造メーカーの情報から算出することはできないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫のような形で内部に蛍光管が付いており、光や気温を一定にし、植物を育成する機器である。</li> <li>・機器により公表されていない機器があり、当入札では困難であった。</li> </ul>
<p>リアルタイムPCR装置定期点検業務請負契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検とはどれくらいの頻度で行うものか。</li> <li>・点検においても前案件と同様の業者のみが応札しているがやはり同じ要因か。</li> <li>・理化学機器の契約についてはこれからも注視していくこととしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器にもよるが、年に1回又は2年に1回程度が通常であり、職員による自己点検も行っている。</li> <li>・そのように考えられる。また、理化学機器の点検作業は新しい業者が参入しても、技術者は同じところから派遣されるものと思われる。</li> <li>・分かりました。</li> </ul>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p> <p>[これらに対し所長が講じた措置]</p>	<p>特になし</p>

事務局：

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第4条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。